学校番号	2003

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)音楽基礎演習Ｂ	単位数	１単位	年次	２年次 後期
使用教科書							
副教材等	プリント教材他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱では、合唱曲だけでなく J-POP などさまざまな歌を通じて、総合的な歌う力をさらに伸ばします。
・器楽では１年次に身につけたコードから弾けるものを増やす他、さまざまなリズムでの演奏に取り組み、さらに演奏の幅を拡げていきます。
・鑑賞や創作活動を通じて、感じる力、また自己を表現する力をさらに伸ばします。
音楽の授業の目標は音楽的な力を高めることですが、大切なことは他者とコミュニケーションを取りながら活動すること、感じる力を身につけることです。これらの社会に出てからも必要な力も伸ばしながら、表現する力を身につけていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　創造的な音楽の表現をするために必要な基本的な知識・技能を身に着けるとともに、社会や文化における音楽のなりたちや役割を知る。
【思考力、判断力、表現力等】
　音や音楽のもつ要素を知覚し、自らの感性を十分に発揮して創造的に表現する。音楽が生活や感情にもたらす効果や作品の音楽的な特徴などを考慮し、表現方法を工夫する。
【学びに向かう力、人間性等】
　主体的に創造活動に取り組み、他者と協同して表現する喜びを感じながら学習する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な音楽の表現をするために必要な音色や奏法、音のつながり方や強弱などを知覚、表現する技能を身につけている。	音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特質、変化など感じ取り、自己のイメージする表現内容に合わせて創意工夫する能力を身につけている。	音楽の表現活動の喜びを味わいながら、主体的に音楽性、技術の向上を目標に活動に取り組もうとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	アカペラコーラス	【歌唱】 ・アカペラのコーラスアンサンブルを行う ・自分のパート内で音程を正確に歌う ・4人1組で他パートを意識しながら創造的に歌う	a:他パートを意識しながら、正確に自分のパートを歌うことができる。 b:それぞれのパートの動きを知覚し、強弱や発音を工夫して表現している。 c:歌唱に関心を持ち、主体的に練習しようとしている。	実技テスト	実技テスト	活動の様子
	ポップ制作	【創作】 【鑑賞】 ・ペアですきな楽曲を1曲取り上げ、紹介ポップを作成することで楽曲に対する理解を深める	a:楽曲に関する知識を持ち、ポップの形で正確に表現できる c: 他者と協同し、話し合いながら意欲的に取り組もうとしている。	作品		鑑賞の様子 グループワークの様子
	自由課題	【歌唱】 【器楽】 【創作】 ・すきなものを選択し、いままで学んだことを活かしながら創造的に表現する	a:選択した課題に必要な基礎的技術を身につけている。 b:自分のイメージに合わせて創造的に表現することができる。 c: 他者と協同し、話し合いながら意欲的に取り組もうとしている。	実技テスト	実技テスト	活動の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度